

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2013年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか 51 番)

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。

そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

ピリピ人への手紙 4章 6, 7 節

2013年11月23日は収穫感謝の昼食会を行いました。近年、教会学校では朝10時から昼食会を行っています。アメリカ合衆国では11月の第4木曜日はサンクスギビング・デイの祭日で、グレービーソースたっぷりの七面鳥とパンプキンパイが定番のごちそうです。茅ヶ崎同盟教会・教会学校のメニューは特製の豚汁と自分たちで作るおにぎりとフルーツポンチです。勤労感謝の日の休日、集まったお友だちは、味もかたちもさまざまなおにぎりをおいしそうに食べていました。今回は成人科担当の飯田純子姉レポートです。



2013年収穫感謝・昼食会レポート

よく晴れたでもちょっぴり寒い11月23日(勤労感謝の日)教会学校の収穫感謝昼食会が行われました。毎年恒例の昼食会ですが、今年は参加者が例年に比し、若干少なかったようです。こども14人、おとな5人、教会員3人、教師11人、全員で33人でした。でも参加したみんなが楽しむことができ



ました。朝10時から10時30分礼拝、10時30分から昼食の準備、そしてクリスマスのオーナメント作り、昼食というプログラムです。

1年を通して神様から豊かに恵みをいただき、とくに秋はたくさんの実った色々な食べ物があります。このことを感謝し、みんなでいっしょに作って食べる昼食会は楽しいですね。以前は日曜日の朝、朝食会をしていまし

たが、できるだけたくさんのお友達やお家の方に参加していただけるよう土曜日の昼食会になりました。10時から礼拝。CS教師・古川兄の司会で讃美、お祈り、続いて森本校長によるサンクスギビングのお話。収穫感謝祭がなぜ始まったのかそれは昔イギリスの港からメイフラワー号という船に乗って大西洋を渡り、新天地アメリカに渡った人々がその土地のインディアンの人々に助けられて苦労しながら畑を作り、作物を作り、1年後に豊かな実りが与えられたことを感謝し、インディアンの人々とともに喜びを分かち合ったことから始まったということです。そして心から神様に感謝したのだそうです。



礼拝が終わると昼食の支度です。お米を研いで炊飯器に。大きい子は野菜を切り豚汁の下準備、小さい子はお母さんや先生に助けられながらフルーツを切ります。りんご等のくだものを持ってきてくださったお母さん、教会員の上田姉から長野の柿を箱いっぱいくださっておいしそうなフルーツポンチができそうです。野菜を切ったり、フルーツを切ったりしてみんなで準備するのは楽しいですね。ご飯が炊け、豚汁ができるまでの間クリスマス飾りのオーナメントを作りました。ボール紙とレースペーパー、毛糸を使って天使を作り、フェルトの加工材料、ビーズなどを使って壁面飾り、小さな子はお母さんに手伝ってもらいながらみんなおもしろい個性あふれるオーナメントができました。

お昼のご飯ができたようです。テーブルには炊き立てのご飯が湯気をたてて、ごまやさけなどの混ぜご飯になってバットに盛られ、豚汁やフルーツポンチがならんでいます。CS教師・稲津姉が感謝のお祈りをして昼食です。みんなバットのご飯を自由におにぎりをにぎって食べました。

お昼が終わり、会堂に集まってみんなで讃美歌を歌い、作ったオーナメントを発表してから天使のオーナメントは作ったおともだち自身に渡されました。みんなどこに飾るのかな？聞きたいな。参加してくださったおともだちを紹介し、森本校長より教会学校へのおさそいとクリスマスの案内があって終わりました。

● 編集後記 (Dec.1st. 2013 Updated)



教会学校だより、今回は収穫感謝・昼食会のレポートをご紹介しました。いよいよ12月です。待ちに待ったクリスマスの季節です。今年度のクリスマス祝会は12月15日に行われます。そして、礼拝後の分

級ではページェントの練習を始めました。幼稚科から成人科まで、毎週日曜日の9時から皆さまのご参加をお待ちしております。今回もおまけ画像として、11月24日に行われた創立54周年記念礼拝の後に撮影した集合写真を掲載しました。(森本)



Nov.24th 2013 創立54周年記念礼拝にて

